

効果が出た 有価物回収事業

62年度有価物回収事業の実施状況

実施団体	79団体
実施回数	298回
売上金額	273万5575円
奨励金交付額	133万2905円
回収量	
古紙類	419.8トン
金属類	65.3トン
空きびん類	92.8トン
雑がラスびん類	44.3トン

昨年、有価物集団回収奨励金制度を利用された団体は79団体でした。その実施回数は延べ298回で、回収量は古紙・空きびんなど合わせて622トンに達しました。実施回数の最高は新町老人クラブの年間18回で、回収奨励金交付額のトップは新金沢町PTAでした。

有価物集団回収奨励金制度や毎月1回の「空きびんの日」が浸透するにしたがって、不燃ゴミの量が、61年度は約13%、62年度は約6%、それぞれ前年度より減少しました。有価物のリサイクル運動の効果が、はっきりと表れてきています。

これからは、量的にも多い古紙など燃えるゴミのリサイクルの徹底を図るとともに、こうした運動の輪をできるだけ広めることができます。

□回収業者：市内の廃品回収業者や酒店、清涼飲料水販売店（市外業者に販売するための団体は除きます）

□空きびん類：

古紙類、金属類、

空きびん類

□回収業者：市内の廃品回

收業者など

が引き取るも

の回収

するための団体は除きます）

□有価物：古紙類、金属類、

空きびん類

□回収業者：市内の廃品回

收業者など

が引き取るも

の回収

するための団体は除きます）

□奨励金額：奨励金は、有

価物1kg当たり2円です。

ただし、空きびん類（回

收業者などが引き取るもの）

は、下の表のとおりに換算

します。

□奨励金額：奨励金は、有

価物1kg当たり2円です。

ただし、空きびん類（回

收業者などが引き取るもの）

は、下の表のとおりに換算

します。

□空きびん類の重量換算

酒、しょう油1.8kg

ビール（容量問わず）

清涼飲料水（容量問わず）

1kg

0.5kg

0.4kg

1kg

</